

新国立劇場 2025/2026 シーズン バレエ & ダンス NEW NATIONAL THEATRE TOKYO 2025/2026 SEASON BALLET & DANCE

シンデレラ Cinderella

新国立劇場バレエ団 The National Ballet of Japan



魔法がとけても、この愛は永遠

新国立劇場バレエ団の定番演目として多くの観客に愛されているバレエ『シンデレラ』。色鮮やかなメロディとリズム感にあふれたプロコフィエフの音楽にアシュトンが振り付けた作品は、英国ロイヤルバレエを始め、世界中で一流のバレエ団によって上演されています。日本では唯一、新国立劇場バレエ団だけが持つ貴重なレパートリーです。魔法のように美しいシーンに彩られた、誰をも幸せな気分包み込むバレエです。この公演は、アシュトンの生誕 120 周年を祝い、アシュトン財団が主催する国際的なイベント「ASHTON WORLDWIDE FESTIVAL」に参加しています。

NATIONAL
BALLET
OF JAPAN

資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 清水千奈美

Tel : 03-5352-5735 / Fax : 03-5352-5737 / e-mail : shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp

見どころ *Highlights*

魅力的なキャラクターたち

童話やディズニー映画などでもおなじみのシンデレラ。アシュトン版で描かれるシンデレラは、実母を亡くし、義理の姉たちから好き勝手な振る舞いをされても優しさを失わずに生きる前向きで健気な少女。箒を持ちながら踊る1幕のソロでは、チャーミングなキャラクターが垣間見えます。

意地悪な義理の姉たちは英国のマイムの流れを組み、男性ダンサーが演じます。1948年初演時は偉大なキャラクター・ダンサーでもあったアシュトン自身が踊り、男性が演じることで滑稽で憎めない役となっています。義理の姉たちのコミカルなキャラクターは、舞台を大いに沸かせ、主役に負けない人気を博しています。



また、シンデレラを導く妖精も重要なキャラクターたち。童話やアニメの魔法のおばあさんは、このバレエでは美しい仙女の姿で現れます。四季の精たちは豊かな四季を奏でる音楽に合わせて、それぞれ特徴のある踊りを披露します。春の精は新鮮な光で新しい生命力に満ち溢れ、夏の精は暑くけだるくて夢見がち。秋の精は風が吹きすさび、冬の精は氷のように冷たくきらめきを放ちます。これらのソロは技術的には難しいですが四季それぞれの感覚や雰囲気表現しています。

息を呑むほど美しいシーンの数々

アシュトン版『シンデレラ』では色鮮やかで抒情的な音楽にのせて、魔法のように美しいシーンの数々が繰り広げられます。シンデレラが舞踏会に登場し、夢んでいるかのようにポワントで階段を降りる場面はハイライトのひとつ。他にも、大きなかぼちゃが魔法の杖で光り輝く馬車に変わるシーンや時計が12時を打つと同時にシンデレラの魔法がとける瞬間の驚くような仕掛け、シンデレラと王子が星空のなか仙女に祝福を受ける幕切れなど、見どころが満載です。



ものがたり Story

シンデレラは、父親と二人の義理の姉と暮らしている。姉たちは好き勝手に振る舞い、シンデレラを召使のように扱っている。汚れた灰色の服で家中を掃除するシンデレラ。それでも笑顔を絶やさず、物乞いの老婆にも優しく接する。

宮殿の舞踏会に招かれている姉たちは、派手に着飾り、ダンスのレッスンを受け、父親とともに出かけていく。一人残されたシンデレラのもとに、先ほどの老婆が現れ、美しい仙女に姿を変える。仙女は四季の精を呼び集め、四季の贈り物を授ける。そして、かぼちゃは馬車に、シンデレラは美しいドレス姿に変身。12時の鐘が鳴り終わる前に戻ってくるよう念を押す仙女に見送られ、シンデレラは期待に胸を膨らませ、お城へと向かう。

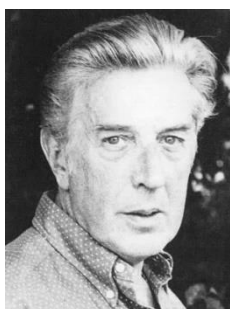


宮殿の舞踏会。シンデレラが広間に入ってくると、輝くばかりの気品と軽やかな足どりで人々を魅了し、王子までもが心を奪われる。踊りながら距離を縮めていく王子とシンデレラ。しかし12時を告げる鐘が鳴りはじめ、シンデレラは大慌てで立ち去り、ガラスの靴を片方落としてしまう。家に戻ったシンデレラは、夢のような時間を思い返している。そこに王子一行がやってくる。片方残った靴を手掛かりに、舞踏会で出会った女性を探しているのだ。小さな靴に無理やり足を入れようとする姉たちを見かねたシンデレラが飛び出したとき、ポケットから転がり落ちたのは、もう片方の靴。王子は、身なりは貧しくとも、彼女こそが自分が探している女性だと悟り、その手を取る。仙女の祝福を受けた二人は永遠に結ばれるのだった。



スタッフ Staff

【振付】フレデリック・アシュトン Sir Frederick ASHTON



1904年、南エクアドルに生まれる。英国人ダンサー、振付家。アンナ・パブロワの舞台を見てバレエを志し、英国に戻って学業を終えた後レオニード・マシーンに入門。さらに、マリー・ランベールほかの著名教師に師事して種々の舞台に立つ一方、26年にデビュー作『ファッションの悲劇』を発表する。28年にはパリのイダ・ルビンスタインの舞踊団にダンサーとして参加し、ブロンスラヴァ・ニジンスカの作風に強い影響を受ける。35年英国ロイヤルバレエの前身であるヴィック・ウェルズ・バレエにダンサー兼首席振付家として招かれる。同時期に入団しやがて英国最高のバレリーナに成長するマーゴ・フォンテインに多くの新作を振り付け、バレエ団発展の原動力となるとともに、英国バレエ独自の気風を確立した。63年には設立者ニネット・ド・ヴァロワの後を継いでロイヤルバレエの芸術監督に就任。70年の退任後も80年代半ばまで創作を続け、88年に英国サセックスにて永眠。主な作品として、『シンデレラ』『ラ・フィーユ・マル・ガルデ』『二羽の鳩』『夏の夜の夢』『田園の出来事』などがある。

【監修・演出】ウェンディ・エリス・サムス Wendy Ellis SOMES



ランカシャー州ブラックバーンに生まれる。地元のバレエ学校で学んだ後、奨学金を得てロンドンのホワイトロッジおよびロイヤルバレエ学校に進む。1970年に英国ロイヤルバレエに入団、75年にソリスト、79年にはプリンシパルに昇格する。『ロメオとジュリエット』『眠れる森の美女』『シンデレラ』『エリート・シンコペーション』『ファサード』『ライモンダ』『ゼンツアーノの花祭り』『ジャズ・カレンダー』『ジゼル』『エニグマ・ヴァリエーションズ』『レ・パティヌール』『レ・シルフィード』『ラ・バヤデル』『夏の夜の夢』『シンフォニック・ヴァリエーションズ』『誕生日の贈り物』などの主要な役を踊り、90年に引退。英国ロイヤルバレエでマーゴ・フォンテインをパートナーにアシュトンの傑作を多く踊ってきたマイケル・サムスはアシュトンから『シンデレラ』と『シンフォニック・ヴァリエーションズ』の著作権を譲られたが94年に死去したため、彼女が夫の仕事を引き継ぎ、英国ロイヤルバレエをはじめ世界中の多くのバレエ団に同作品の指導を行っている。

【美術・衣裳】デヴィッド・ウォーカー David WALKER



セントラル・スクール・オブ・アーツ・アンド・クラフトで学んだ後、リバプール・シアター・ワークショップにてジョアン・リトルウッドとともにデザインの仕事をはじめ。1964年アシュトン振付英国ロイヤルバレエ初演『夏の夜の夢』の衣裳デザインをはじめ英国ロイヤルオペラ、ストックホルム・ロイヤル・オペラ、エジンバラ・フェスティバル、テアトロ・マッシモ、フェニーチェ劇場、メトロポリタン・オペラ、ジョフリー・バレエ、ボストン・バレエ、カナダ国立バレエ、シュトゥットガルト・バレエなどに招かれ、世界中の多くの劇場でオペラ、バレエ作品の舞台美術や衣裳デザインを手がけた。2008年死去。

【照明】沢田祐二 SAWADA Yuji



東京生まれ。文化庁派遣在外研修員としてロンドン、ベルリンで演劇、オペラ、バレエの照明法を研修。現在は演劇、オペラ、バレエ、ミュージカルなど幅広いジャンルで照明デザイナーとして活躍。新国立劇場におけるバレエ公演では『眠れる森の美女』『ホフマン物語』『シンデレラ』『ロメオとジュリエット』『ライモンダ』『マノン』『カルメン』『オルフェとエウリディーチェ』『椿姫』『火の鳥』『パゴダの王子』など。日本バレエ協会公演『白鳥の湖』『ジゼル』『眠れる森の美女』『アンナ・カレーニナ』なども手掛ける。他に新国立劇場ではオペラで『カルメン』『魔弾の射手』『黒船』『修善寺物語』『鹿鳴館』『夜叉ヶ池』、演劇では『城』『わが町』『アジア温泉』『ピグマリオン』『かもめ』『オレスティア』などを手掛ける。第1、10回照明家協会賞大賞、文部大臣奨励賞。第1回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞。第33回紀伊国屋演劇賞。第1回橘秋子舞台クリエイティブ賞を受賞。

【指揮】 マルク・ルロワ＝カラタユド Marc LEROY-CALATAYUD



スイス・ローザンヌ生まれ。2016年から2019年までボルドー国立歌劇場で副指揮者を務め、オペラやバレエ公演、交響曲コンサートなどを定期的に指揮。Akademie Musiktheater Heute (2018-2021) のコンダクティング・フェローであり、ウィーンとチューリッヒでマーク・ストリンガーとヨハネス・シュレーフリに指揮を学ぶ。ウラディーミル・ユロフスキやベルナルト・ハイティンクなどの指揮者のマスタークラスに参加。2021/2022 シーズンのカンヌ管弦楽団のアーティスト・イン・レジデンスに任命された。ヘンデル、モーツァルトからラヴェル、ヴァイル、リームまで、幅広いオペラのレパートリーを持ち、最近では、シャンゼリゼ劇場でのドニゼッティ『愛の妙薬』、アルチュール・ラヴァンディエ『龍王の伝説』、ボルドー国立歌劇場でのロッシーニ『セビリアの理髪師』とアンリ・ラボー『マルーフ、カイロの靴屋』、アンサンブル・ノマドとの『七つの大罪』などを指揮している。バレエ指揮者としてはキリアン、ベジャール、ロビンス作品でデビューし、ボルドー国立歌劇場バレエ公演で D.ビントレー振付のプロコフィエフ『シンデレラ』、F.アシュトン振付『ラ・フィーユ・マル・ガルデ』などを指揮している。新国立劇場では『コッペリア』を指揮している。

ン、ベジャール、ロビンス作品でデビューし、ボルドー国立歌劇場バレエ公演で D.ビントレー振付のプロコフィエフ『シンデレラ』、F.アシュトン振付『ラ・フィーユ・マル・ガルデ』などを指揮している。新国立劇場では『コッペリア』を指揮している。

【指揮】 富田実里 TOMITA Misato



国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部にて指揮を学ぶ。堤俊作、湯浅勇治、松沼俊彦に師事。2013年日本バレエ協会『ドン・キホーテ』でバレエ指揮者デビュー。その後、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエの客演指揮者として『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『海賊』『コッペリア』『大地の歌』『ラ・シルフィード』『美女と野獣』を指揮したほか、井上バレエ団、NBA バレエ団、東京バレエ団の公演で指揮を務め好評を得る。また、指揮者の活動以外にも様々な分野でピアニストとして活躍の場を広げている。新国立劇場バレエ団では、数々のバレエ公演で副指揮者を務め、現在レジデント・コンダクター。『シンデレラ』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『アラジン』『ドン・キホーテ』『ペンギン・カフェ』『コッペリア』『白鳥の湖』『不思議の国のアリス』を指揮した。

キャスト Cast

2025 年 10 月	4 日(土) 16:00 【札幌公演】	5 日(日) 14:00 【札幌公演】
シンデレラ	小野絢子	米沢 唯
王子	井澤 駿	渡邊峻郁

2025 年 10 月	17 日(金) 18:30	18 日(土) 13:00	18 日(土) 18:00	19 日(日) 13:00	19 日(日) 18:00	21 日(火) 18:30
シンデレラ	米沢 唯	木村優里	小野絢子	池田理沙子	柴山紗帆	木村優里
王子	渡邊峻郁	速水涉悟	井澤 駿	水井駿介	渡邊峻郁	速水涉悟

2025 年 10 月	22 日(水) 14:00	23 日(木) 13:00	24 日(金) 18:30	25 日(土) 13:00	25 日(土) 18:00	26 日(日) 14:00
シンデレラ	小野絢子	池田理沙子	米沢 唯	柴山紗帆	小野絢子	米沢 唯
王子	井澤 駿	水井駿介	ワディム・ムンタギロフ	渡邊峻郁	井澤 駿	ワディム・ムンタギロフ

<シンデレラ>



小野 絢子 ONO Ayako <プリンシパル>

東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007年に新国立劇場バレエ団に入団。08年D.ビントレー『アラジン』の主演に抜擢され、その後もほぼ全ての作品で主演を踊る。11年プリンシパルに昇格。13年『アラジン』、14年『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。11年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14年服部智恵子賞、16年橘秋子賞優秀賞、19年芸術選奨文部科学大臣賞。



木村 優里 KIMURA Yuri <プリンシパル>

千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校で学ぶ。新国立劇場バレエ研修所を経て、2015年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。15年『くるみ割り人形』金平糖の精役で主演デビューを果たす。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『ジゼル』などの古典作品やF.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』、R.プティ『コッペリア』の主演のほか、『ラ・バヤデール』ガムザッティ、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』ハートの女王などを踊っている。22年プリンシパルに昇格。17年舞踊批評家協会新人賞、20年中川鋭之助賞を受賞。



柴山 紗帆 SHIBAYAMA Saho <プリンシパル>

東京都出身。バレエスタジオDUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピッツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。2014年に新国立劇場バレエ団に入団。15年に牧阿佐美『くるみ割り人形』金平糖の精で主演デビューを果たし、『白鳥の湖』『ラ・バヤデール』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』『ジゼル』『眠れる森の美女』、F.アシュトン『シンデレラ』の主演、G.バランシン『テーマとヴァリエーション』『シンフォニー・イン・C』第一楽章、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』ハートの女王などを踊っている。21年ファースト・ソリスト、23年プリンシパルに昇格。



米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>

愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010年に新国立劇場バレエ団に入団。11年『パゴダの王子』で初主演を務め、13年プリンシパルに昇格。初演した主な役にはW.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、森山開次『竜宮りゅうぐう』プリンセス亀の姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリスなどがある。17年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18年舞踊批評家協会新人賞、20年芸術選奨文部科学大臣賞、橘秋子優秀賞ほか受賞多数。



池田 理沙子 IKEDA Risako <ファースト・ソリスト>

東京都出身。バレエスタジオDUOで学ぶ。2009年ユース・アメリカ・グランプリ女性シニアの部銅メダルほかコンクール受賞歴多数。Kバレエカンパニーを経て、16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し19年ファースト・ソリストに昇格。『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』『ジゼル』やF.アシュトン『シンデレラ』、R.プティ『コッペリア』、D.ビントレー『アラジン』、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』などの主演のほか、平山素子『Butterfly』『春の祭典』を踊っている。25年中川鋭之助賞受賞。

<王子>



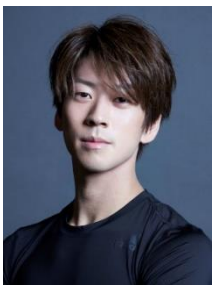
ワディム・ムンタギロフ Vadim MUNTAGIROV <英国ロイヤルバレエ プリンシパル>

ロシアのチェリャビンスク生まれ。両親ともチェリャビンスク・バレエのダンサーという環境に育つ。1999年ロシア国立ペルミ・バレエ学校でバレエを始め、2006年ローザンヌ国際バレエコンクールで入賞後、英国ロイヤルバレエ学校に招かれ研鑽を積み、09年イングリッシュ・ナショナル・バレエ（ENB）に入団。10年にファースト・ソリスト、11年プリンシパル、12年リード・プリンシパルに昇進。11年及び15年英国舞踊批評家協会賞、13年ブノワ賞を受賞している。14年英国ロイヤルバレエにプリンシパルとして移籍。新国立劇場バレエには13年『ジゼル』アルベルトで初登場し、これまでにシーズン・ゲスト・プリンシパルとして『眠れる森の美女』『ラ・バヤデール』『白鳥の湖』『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『マノン』に主演した。



井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル>

群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014年新国立劇場バレエ団に入団。同年F.アシュトン『シンデレラ』で主役デビューを果たし、17年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』などの古典やR.プティ『こうもり』、P.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主役、D.ビントレー『アラジン』ランプの精ジーンなどを踊っている。18年中川鋭之助賞、20年舞踊批評家協会新人賞、22年芸術選奨文部科学大臣新人賞。



速水渉悟 HAYAMI Shogo <プリンシパル>

京都府出身。ジョン・クランコ・バレエ学校を経て、2015年ヒューストン・バレエに入団。15年ユース・アメリカ・グランプリ NY ファイナル男性シニア部門金賞、審査員特別賞を受賞。18年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。20年『ドン・キホーテ』で全幕主役デビューを果たし、『竜宮 りゅうぐう』『ジゼル』『くるみ割り人形』『コッペリア』『夏の夜の夢』『ラ・バヤデール』『アラジン』の主役のほか、『ロメオとジュリエット』ベンヴォーリオ、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』ルイス・キャロルなどを踊る。21年ファースト・ソリスト、23年プリンシパルに昇格。24年中川鋭之助賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。



渡邊峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシパル>

福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ペラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19年プリンシパル昇格。古典作品の主役やC.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコー、F.アシュトン『夏の夜の夢』オーベロン、『Shakespeare THE SONNETS』などを踊り好評を博している。



水井駿介 MIZUI Shunsuke <ファースト・ソリスト>

新潟県出身。佐渡バレエフレンドにてバレエを始め、渡辺珠実、上田めぐみに師事。AM スチューデント第27期生に合格。2009年よりウィーン国立バレエ学校に留学。11年ウィーン国立バレエに研修生として入団。その後、ポーランド国立バレエに移籍し、16年コリフェに昇格。『眠れる森の美女』ブルーバード、『ラ・バヤデール』ブロンズアイドル、『ロミオとジュリエット』マキューシオを踊る他、現代を代表する著名な振付家の作品に多数出演する。19年より牧阿佐美バレエ団に在籍し、『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『白鳥の湖』『リーズの結婚』『アルルの女』に主演。24年新国立劇場バレエ団に入団。今回が新国立劇場バレエ団での全幕公演初主演となる。

公演概要 & チケット情報

Schedule & Tickets

2025/2026 シーズン 新国立劇場



令和7年度（第80回）文化庁芸術祭主催公演

新国立劇場バレエ団

シンデレラ

Cinderella

振付 フレデリック・アシュトン
監修・演出 ウェンディ・エリス・サムス / マリン・ソワーズ
音楽 セルゲイ・プロコフィエフ
美術・衣裳 デヴィッド・ウォーカー
照明 沢田祐二

芸術監督 吉田 都

出演 新国立劇場バレエ団

指揮 マルク・ルロワ＝カラタユード / 富田実里

管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団

Cinderella is one of over 100 ballets created by Frederick Ashton (1904-1988).
These performances are presented as part of the Ashton Worldwide 2024-2028 festival.
For further information, visit frederickashton.org.uk

【公演日程】

2025 年 10 月 17 日（金）18:30
10 月 18 日（土）13:00／18:00
10 月 19 日（日）13:00 **託児** ／18:00
10 月 21 日（火）18:30
10 月 22 日（水）14:00 
10 月 23 日（木）13:00
10 月 24 日（金）18:30
10 月 25 日（土）13:00 **託児** ／18:00
10 月 26 日（日）14:00

* 開場は開演 45 分前です。
開演後のご入場は制限させていただきます。

【他劇場での公演日程】

札幌文化芸術劇場 hitaru
2025 年 10 月 4 日（土）16:00
10 月 5 日（日）14:00

託児 ...託児室＜キッズルーム「ドレミ」＞
がご利用になれます。



...バックステージツアー実施日（抽選）

【会場】新国立劇場 オペラパレス （京王新線 新宿駅より 1 駅、初台駅中央口直結）

【予定上演時間】約 2 時間 35 分（休憩含む）

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/cinderella/>

【チケット料金（税込）】

席種	S 席	A 席	B 席	C 席	D 席	Z 席*
料金（税込）	14,850 円	12,650 円	9,350 円	6,050 円	4,950 円	1,650 円

◆クラブ・ジ・アトレ会員の方は、先行販売期間は上記料金の 10%OFF、一般発売以降は 5%OFF でお求めいただけます。

*Z 席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z 席は、公演当日朝 10:00 から、新国立劇場 Web ボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1 人 1 枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は、開演 2 時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

【前売り開始日】

一般発売日：2025 年 8 月 16 日（土）10:00～

【チケットのお求め・お問い合わせ】

＜ウェブでの予約・購入＞

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>（PC、携帯共通）

チケットぴあ <http://pia.jp/t/>（PC、携帯共通）【P コード：533-158】

イープラス <http://eplus.jp/>（PC、携帯共通）

ローソンチケット <http://l-tike.com/>（PC、携帯共通）【L コード：36894】

＜電話での予約・購入＞

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

メズム東京、オートグラフ コレクション × 新国立劇場『シンデレラ』

舞台と食で『シンデレラ』の世界をより豊かに 特別ランチ&ディナープログラムのご案内

新国立劇場では、2025/2026 シーズンのバレエオープニングを飾るアシュトン版『シンデレラ』の上演を記念して、五感で楽しむ特別なコラボレーションをお届けします。舞台芸術と美食が会えるこの企画は、モダンラグジュアリーホテル「メズム東京、オートグラフ コレクション」との連携により実現。2024 年に好評を博したオペラ『魔笛』でのコラボに続く、第2弾となります。

今回は、アシュトン版『シンデレラ』の優美で幻想的な世界を、ビストロノミースタイルのコース料理で表現。観劇の前にはプロローグとしての高揚感を、観劇後には余韻を深めるひとときとして、特別なランチ&ディナーをお楽しみいただけます。

物語の魔法に包まれるような、美しく贅沢な体験をぜひご堪能ください。

バレエ『シンデレラ』ランチ&ディナープログラム

【提供期間】

2025 年 6 月 20 日（金）～10 月 26 日（日）

【提供時間】

ランチ 11:30～15:00（L.O.14:00）

ディナー 17:00～22:00（L.O.20:30）

【提供場所】

メズム東京 16 階フレンチダイニング

「シェフズ・シアター」

【料金・ご予約】

ランチプログラム 7,600 円 〔ご予約：<https://x.gd/Lip8x>〕

ディナープログラム 15,800 円 〔ご予約：<https://x.gd/R7CU5>〕



メズム東京、オートグラフ コレクション「シェフズ・シアター」 新国立劇場バレエバレエ団『シンデレラ』チケット付き食事プラン

【発売開始日】8 月 18 日（月）

【料金】

ランチ付きプラン 21,450 円～

ディナー付きプラン 28,280 円～

【予約サイト（外部の予約サイトへ飛びます）】

https://www.tablecheck.com/shops/mesm-tokyo-chefstheatre/reserve?menu_lists=689afbfc9a5c220513565964